

地方独立行政法人 宮城県立病院機構 第1回理事会議事録

日 時：平成24年6月26日（火）午後2時から午後4時まで

場 所：本部事務局会議室（県庁12階）

出席者：菅村理事長（議長），熊谷副理事長，片倉理事，小高理事，近藤理事，近内理事，西條理事，小山監事，柳川監事

1 議 題

（1）職員就業規則の一部改正について

- ・ 事務局から，がんセンターにおける特別勤務職員の勤務時間の割り振りの改正について説明。
- ・ 理事から，がんセンターの特別勤務職員に限定した改正でよいのか質問があり，事務局から，今後その必要性があれば他の病院についても改正を行う旨回答した。
- ・ その後採決を行い，原案のとおり了承された。

（2）有期雇用職員就業規則の一部改正について 及び （3）宿日直規程の一部改正について

- ・ 事務局から，有期雇用職員の医師における宿日直の取扱いの改正について説明。
- ・ その後採決を行い，原案のとおり了承された。

（4）給与規程の一部改正について

- ・ 事務局から，給料表の改正等について説明。
- ・ その後採決を行い，原案のとおり了承された。

（5）任期付職員就業規程の制定について

- ・ 事務局から，任期付職員を任用する場合の就業条件等について説明。
- ・ 理事から，任期付職員と有期雇用職員の違いについて質問があり，事務局から，任期付職員は正職員として任期を定め採用し，有期雇用職員は県の臨時職員・非常勤職員と同等の扱いである旨回答した。
- ・ その後採決を行い，原案のとおり了承された。

（6）平成23年度年度計画実績について

- ・ 事務局から，平成23年度年度計画実績について説明。
- ・ 理事から，説明資料の作成に可能な限り平成22年度実績等を記載するようにはどうかとの意見があり，事務局から，記載する旨回答した。
- ・ 監事から，患者の待ち時間について質問があり，循環器・呼吸器病センター及びがんセンターから，待ち時間の短縮に向けた取組み等について回答した。
- ・ 理事から，説明資料の「人材の確保と育成」の項目で論文名及び認定看護師数等を記載するようにはどうかとの意見があり，事務局から，記載する旨回答した。
- ・ 理事から，経常収支比率と医業収支比率について質問があり，事務局から，経常収支比率が102.1%となったのは，運営費負担金収益等による旨回答した。
- ・ 監事から，説明資料の「予算，収支計画及び資金計画」の項目で経常収支比率と医業収支比率の記載の方法について検討してはどうかとの意見があり，事務局から，検討する旨回答した。

- ・ 監事から、「災害等への対応」の自己評価がAとなっているが、東日本大震災の影響によるものなのか質問があり、事務局から、震災を契機として例年になく取組みが実施できた旨を回答した。
 - ・ その後採決を行い、原案のとおり了承された。
- (7) 平成23年度決算について
- ・ 事務局から、平成23年度決算について説明。
 - ・ 監事から、平成24年6月13日及び6月14日に実施された監査について報告。
 - ・ その後採決を行い、原案のとおり了承された。
- (8) 精神医療センター整備について
- ・ 事務局から、精神医療センターの建設候補地等について説明。
 - ・ 理事から、精神科医療を取り巻く環境を考慮し、早い時期に開院できるようにとの意見があった。
 - ・ 監事から、通院の利便性について問題ないか質問があり、精神医療センターから、がんセンターと連携しながらバス運行等も含め検討していきたい旨回答した。
 - ・ その後採決を行い、原案のとおり了承された。

2 報告事項

- (1) 平成24年度職員採用試験について
- ・ 事務局から、平成24年度職員採用試験について説明。
- (2) 経営状況等について
- ・ 各病院から、患者数や収支等の経営概況について説明。
- (3) 循環器・呼吸器病センターの取組について
- ・ 循環器・呼吸器病センターから、現状と課題及び医師確保の取組状況等を報告。
 - ・ 理事から、本部事務局が主体的に循環器・呼吸器病センターのあり方を検討していくべきであるという意見があり、理事長から、県と連携し検討していく旨回答した。
- (4) その他
- ・ 事務局から、がんセンターの高度放射線治療棟について説明。

以 上